

緑のセンターだより

NO. 111 平成20年 6月1日発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

タンポポ

Taraxacum キク科 タンポポ属

別名 ツズミグサ、フジナ、ムジナ、オジナ、タンポグサ

漢名 蒲公英 (ほこうえい)

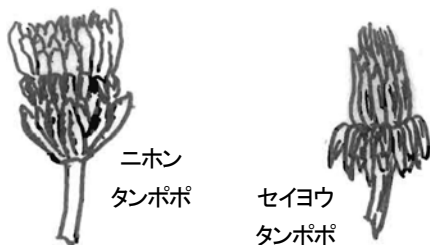
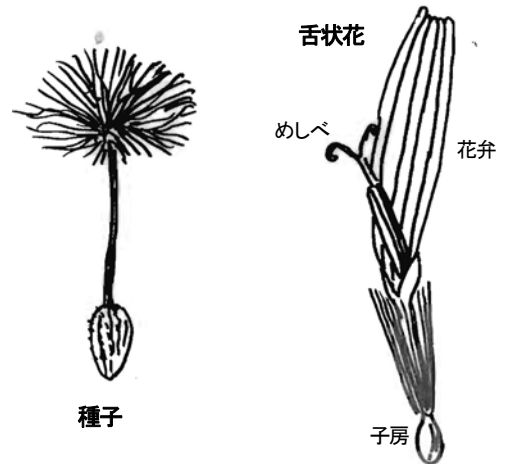
英名 dandelion (葉の形がライオンの奥歯)

春に黄色い花を咲かせるタンポポは、全国の野原や空き地、道端などどこにでも見られる、誰でも知っている野草です。タンポポの花びらは何枚かと子供に聞くと、数えたことがないからわからないと答えます。

タンポポの花は多数の舌状花の集合した総状花で、その舌状花は5枚の花びらが合わさった合弁花で、花びらは5枚です。

タンポポ属は北半球の寒帯、温帯、暖帯に約 400 種、日本にはおよそ 20 種あまりが自生しています。現在日本には日本本来の在来種と外国から帰化した外来種が混在して自生しています。在来種は総称してニホンタンポポといい、関東地方に自生するカントウタンポポ、近畿以西にはカンサイタンポポ、東海、関東の太平洋側にヒロハタンポポ、関東以西、中国、四国、九州地方にシロバナタンポポなどが見られます。また東北、北海道にはエゾタンポポ (*Taraxacum honndoense* Nakai) が自生していますが、近年全国的に外来種のセイウタンポポに代わりつつあります。

セイウタンポポ (*Taraxacum officinale* Weber) はヨーロッパでは野菜サラダや養鶏飼料として利用されていたため、わが国には野菜として明治初期に導入されました(学名の「*officinale*(オフィキナレ)」は、「薬効がある」という意味)。北海道には明治後期に札幌農学校の教師ブルックス(William Penn Brooks, 1851-1938)が北アメリカから野菜用に種子を、また、同じく札幌農学校の教師だったエドウィン ダン(Edwin Dun, 1847-1931)が乳牛の乳量増加のため牧草と一緒に導入したとも言われていますが、ここから逃げ出し全道に広がったのは確かなようです。



タンポポの花はロゼット葉の中心から数本の花茎が立ち上がり総状花をつけ、その基部を支える緑の部分の総苞には、内側に 1 列、外側に数列の総苞片からなり、外側の数列の総苞片がめくれているのがセイウタンポポで、そうでないものがニホンタンポポと区別します。

タンポポの開花運動は、日照時に開花し暗くなると閉じるように、光の明暗によって開閉運動を行います。

セイウタンポポの繁殖は他と異なり、単為生殖(受粉なしに繁殖する)で殖え繁殖力は旺盛で環境適応能力も高いため日本全国に広がり、在来種が少なくなりました。

タンポポは昔から薬用として、健胃、胃痛、消化促進、利尿などの目的で利用されており、また、食用として葉はおひたし、ごまあえ、汁の実に、花は2杯酢やてんぷらに、根はキンピラやコーヒーの代用にと、全草が利用されているようです。(T.I.)



ロゼット葉

6月の園芸

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00～12:00、13:00～16:00
 ☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日
 ☆百合が原公園 772-3511 木、日曜日
 ☆平岡樹芸センター 883-2891 水、土曜日

◆盆栽

庭木も盆栽も新芽が伸び盛んに生長し始める時期です。この時期に放任すると枝や葉が伸びすぎて大きくなり樹形が乱れて盆栽らしさがなくなってしまいます。そこで芽掻き、芽摘み、芽切り、葉刈り、葉抜きなどの手入れをして整姿、整形を行います。

芽掻き

マツ類やシャクナゲなどは1箇所から1以上の芽が出てきます。枝数が多くなり過ぎたり車枝となりますので、1芽を残して他を掻き取ります。

芽摘み

マツ類では残した1芽を、葉が開く前に1/2～2/3を折り取ります。この作業を緑摘みと言います。また雑木類では新芽の第1節から先の生長点を指でつまんで摘み取ります。



芽切り

芽の一部、または付け根からハサミを使って切り取ります。

葉刈り

葉の一部または葉柄の部分からハサミで切り取ります。

葉抜き

ゴヨウマツなどは葉数が多く、勢力の強い芽は葉の一部を指でつまんで抜き取り葉数を整え生育をそろえます。

これらの作業は樹種により、また生育状況により時期や手法が異なります。専門書を参照したり盆栽教室などで熟達者の指導を受け経験を積んで上達を目指しましょう。

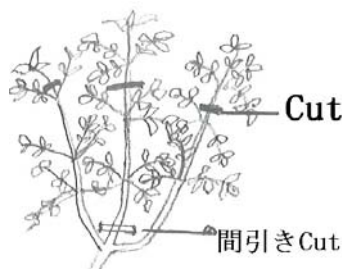
◆庭の花木、花後の管理

エゾムラサキツツジを皮切りに庭のツツジ類は次々開花し、遅咲きのドウダンツツジが終わるのは6月下旬になるでしょう。ツツジは花が終わっても花殻が残ってみすばらしい残骸を付けたままです。開花を終えた順に花殻摘みをしますが、このとき伸び過ぎた枝や混み枝の剪定を兼ねると良いでしょう。剪定が遅れると翌年の花芽が出来ないことがありますので6月下旬までにすませるようにします。

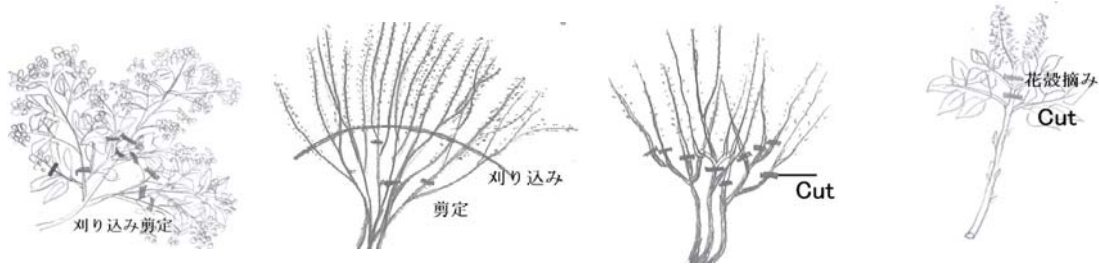
レンギョウ、ユキヤナギ、コデマリなどは花が終わったら必要に応じて整枝、剪定を早めに行います。

ボケは新梢がじゃまにならないのであれば伸びるに任せましょう。茂って混み気味であれば下に芽のあることを確認して切り詰めてみましょう。

ライラックは花後直ぐに花殻を取り、切り戻し剪定も兼ねましょう。剪定は花殻の下1～2節のV字状の枝又で切り取ります。深切りすると樹形が乱れるので注意しましょう。大きくなった樹は古くなった枝を思い切って切り取り丈夫な下枝に更新するのがよいでしょう。自根の株はヒコバエを多く出しますので、更新に当てますが、数が少なかったり貧弱なものだと枯れ込んでしまうことがありますので注意しましょう。



エニシダは小枝をそのままにして、株立ちを混ませている古い枝を切り戻し間引きすると良いでしょう。
ヤマブキはレンギョウやコデマリにならって刈り込みをしておきます。



コデマリの刈り込み ユキヤナギの刈り込みと剪定 レンギョウの刈り込み ライラックの花殻摘み

◆野菜(果菜類)栽培のポイント

庭木も盆栽も新芽がはえ盛んに伸長し始める時期です。この時期に放任すると枝や葉が伸びすぎて大きくなり樹形が乱れて盆栽らしさがなくなります。芽掻き、芽摘み、芽切り、葉刈り、葉抜きなどにより整姿整形を行います。

トマト

整枝

トマトの整枝は、主枝1本仕立にします。腋芽は小さいうちの晴天時に掻き取ります(濡れると腐敗しやすい)。刃物での整枝は病害の伝染につながりやすいので避けます。

ミニトマトでは、主枝と側枝の2〜3本仕立ての方法もあります。茎葉が重くなりますので、倒れないように支柱をしっかりと立てます。

ホルモン処理

トマトの着果を良くし肥大を促すため、1花房に3〜4花咲いた頃にホルモン処理(トマトーンなど)を行います。濃度は気温が20℃以下の時には50倍、20℃以上の時には100倍とします。散布には霧吹き等を使います。花房に振動を与えるのも授粉には有効です。

尻腐れの予防

果実がピンポン玉大になった頃、先端が黒くなる尻腐れ病が発生します。これは石灰欠乏が原因であり、予防のために、実が小豆粒大になった頃、果房の周辺の葉に塩化カルシウム(カルクロン)を、7〜10日毎に2〜3回散布します。土の中に石灰があっても、窒素が多かったり乾燥が激しい時に発生しますので注意が必要です。

肥料

施肥量の半分は元肥で施し、残りを三等分して、1〜3段果房それぞれの2番果がピンポン球大になった時に追肥します。

トマト芽かき



ナス整枝



ナス

整枝

一番花のすぐ下の側枝を2本残して3本仕立てにします。他の側枝は早めに掻き取ります。これを怠ると株元が過繁茂となり、実の色つきが悪くなります。接ぎ木苗の場合は、台木からの萌芽は早めに掻き取ります。

肥料

元肥として70%程度を施し、残りは追肥で施します。追肥の1回目は収穫始めに、それ以後は30日毎に施します。

キュウリ

整枝

親づると子づる2本の3本仕立ての時は、親づる5節までの子づるは早めに除去し、6〜8節に発生する生長の良い子づる2本を育てます。他の子づる、孫づるは早めに取り、それ以後に着果させ1〜2葉付けて摘心します。

肥料

元肥として半量を施し、残りは収穫始めとそれ以後20日毎に追肥します。

キュウリ整枝



その他

- 果菜類は温度を必要とするものが多く、早植は禁物、5月下旬〜6月上旬で十分です。出来ればビニールマルチなどで地温を上げましょう。
- 接ぎ木苗を使うときは、接ぎ木部を埋めないように注意しましょう。

6月～7月上旬の催しのお知らせ

豊平公園緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
花・野菜・庭木の病害虫防除	6/11 (水)	13:30～	5/11～	無料
山草の寄せ植えを楽しむ	6/21 (土)	"	6/11～	2,000 円
初めてのハーブ寄せ植え教室	6/29 (日)	10:00～	"	教材費実費
果樹などの夏の病害虫防除	7/2 (水)	13:30～	"	無料
洋ランの夏の栽培方法	7/13 (日)	"	"	
展示会				
春の小品盆栽展	6/6 (金)～8 (日)			札幌小品盆栽会
バラエティ盆栽展	6/6 (金)～8 (日)			札幌盆栽会
斑入り植物展	6/7 (土)～8 (日)			斑入り愛好会
札幌草樹会展	6/20 (金)～22 (日)			札幌草樹会
ハーブ展	6/24 (火)～7/6 (日)			豊平公園花とハーブの会
自然観察会				
夏の観察会	7/5 (土)	10:00～	6/11～	無料
クラフト講習会				
アレンジ押し花講習会 「うちわ」	6/20 (金)	10:00～	6/11～	1,500 円
あけび工房講習会 初級編 「つりかご」	6/25 (水)	10:00～	"	2,500 円
あけび工房講習会 上級編 「一輪ざし」	"	13:30～	"	2,500 円
現代押し花アート講習会 「ポストカード」	7/15 (火)	10:00～	7/11～	1,000 円
ボタニカルアート講座 全10回	4/25～9/12 第2、4金曜日		随時受付中	(詳しくはお問い合わせください)

百合が原緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
花木盆栽の育て方	6/14 (土)	13:30～	5/11～	200 円
園内バラ見学ツアー	6/15 (日)	13:30～	6/11～	"
ラベンダーなどハーブの育て方	7/9 (水)	"	"	"
バラの花後管理	7/13 (日)	"	"	"
展示会		日	料金	
ハンギングバスケット展	6/10 (火)～15 (日)			130 円
花木盆栽展	6/13 (金)～15 (日)			"
フクシア展	6/17 (火)～29 (日)			"
★ゆり月間★	7/2 (水)～27 (日)			"

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 883-2891

講習会 内容	日	時間	申込開始	費用・備考
マツ類の緑摘み	6/7 (土)	10:00～	5/11～	無料
小型庭木の移植	6/15 (日)	10:00～	6/11～	"
木を小さくする	6/22 (日)	10:00～	"	"
生垣の維持	7/6 (日)	10:00～	"	"
展示会		日	料金	
アレンジ押し花講習会 「うちわ」	6/19 (木)	10:00～	6/11～	1,500 円
サプライズフラワーアレンジ教室	6/5 (木)	10:00～	5/11～	2,500 円
あけび工房講習会 「プランター」	6/4 (水)	10:30～	5/11～	2,500 円

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>